



算数4年の図形領域。身近に使われている
いろいろな四角形を集め、友達と一緒にタ
ブレット端末で整理・分類する児童ら

「情報編集力」を身に付ける 文字や音声、画像を 目的に応じて活用

福岡教育大学附属久留米小学校

新教科「情報科」要に 他の学習と関連図り

福岡教育大学附属久留米小学校和田圭校長、児童453人
では、文字や音声、画像などの情報を目的に応じて活用し、協働的に問題解決しようとする子を育てている。こうした力を「情報編集力」と位置付け、文科省研究開発学校として取り組む新教科「情報科」を要に、各教科・領域などの学習と関連を図りながら育成している。(公財)パナソニック教育財団の特別研究指定校でもある同校は、2月9、10の両日に研究発表会を行い、これまでの研究成果を披露する。

「情報」と聞くと、を収集・選択し、より教諭は、「情報編集力」を身に付ける。学校現場では、情報教良い価値へと組み合わせる。育に特化した資質・能を思い浮かべる。し指している。情報機器る。そのため、各教科かし、同校が取り組むに、関わりのリテラシー・領域などでも育て「情報編集力」は、多は、その中の一部分にいくべき力であるとい様な情報の中から、自すぎない。う前提に立ち、実践を目的に応じて情報 研究主任の岡山昌司 積み重ねている。

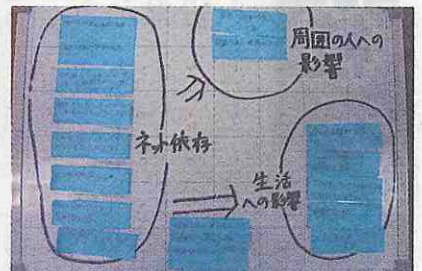
協働しながら問題解決

目指すべきところ 分類されている。「情報発信するときに効果は、子どもたちが主体 報科」の授業は、全学的」という視点でICT的に情報を活用し、協 年週1時間。「情報編 T機器を活用してい働しながら問題解決し 集力」の基礎を培う時る。ていくこと。要となる 間としている。例えば、図画工作で「情報科」の力リキュ この「情報編集力」はデジタルカメラをう。パナソニック教育の学習とつながる「情 を効果的に働かせるた 人1台持たせ、保存し財団の特別研究指定を報の見方や考え方」② 1時間の学習の中に 自分に必要なものを選 端末とデジタルカメラ情報機器の操作に関わ 「つくる」あつめる」る技能や名称に関する 「つくりあげる」の活知識③道徳の時間や学 動を取り入れている。級活動とも関連する情 その際、同校では、報モジュールの3領域に 「情報を集め、処理し、

日常的に 機器使い

研究当初、同校のICT機器の環境はパソコンルームにあるパソコンくらいだったとい。パナソニック教育財団の特別研究指定を受けた後、タブレット

研究成果の一つが、頭で考えたことを言葉にして話すことに加えて、ICT機器を活用して表現することの良さを実感している子が増えたこと。その実態



「情報科」の情報モジュールを扱う授業で、コミュニケーション型ウェアサイトの良い点と悪い点を出し合い、整理・関連付けたボード

として、言葉で説明し、ツールとして活用している姿が日常的に見られているという。附属久留米小 942・32・4402